

第5回作文コンクール授賞式

1 応募要項

第5回「ぼくたちの地球を守ろう」小学生・中学生作文コンクール

テーマ	「ぼくたちの地球を守ろう」 環境保全問題に関する考えをまとめる
賞	高円宮賞 (小・中各1名) 環境庁長官賞 (小・中各1名) 優秀賞 (小・中各2名) 地球こどもクラブ賞 (小・中各2名) 特別賞 (若干名)
審査基準	地球環境に対する純粋で素直な表現力と視点を競う
審査委員長	江森 陽弘 (ジャーナリスト/元朝日新聞編集委員)
審査委員	赤池 幹 (毎日小学生・中学生新聞編集長) 山谷えり子 (サンケイリビング新聞編集長/生活ジャーナリスト) 島田 一男 (社会心理学者) 森 ミドリ (音楽家) アグネス・チャン (歌手) 浅井 清恵 (千葉県御宿中学校教諭) 杉山 多恵 (環境庁環境企画調整局環境保全活動推進室・環境学習専門官)
応募資格	小学4年生から中学3年生まで
応募方法	400字詰原稿用紙 3枚以内 中国語・韓国語・インドネシア語 上に同じ 作品書き出しに作品名/氏名/学校名記入 作文用紙裏に氏名・連絡先・年令・国籍を記入
応募先	〒107東京都港区赤坂7-10-9 赤坂伊藤ビル6F 地球こどもクラブ「ぼくたちの地球を守ろう作文コンクール」係
応募締切	日本語作品: 1995年5月20日(当日消印有効) 外国語作品: 1995年4月28日必着
注 意	応募作品は返却できませんのでご了承下さい。また、作品の著作権・所有権は地球こどもクラブに帰属します。
発 表	入賞者には事務局より直接ご連絡致します。 新聞・雑誌「SOLA」紙上他
授賞式	1995年8月23日(水)
主 催	地球こどもクラブ
後 援	環境庁・文部省・外務省・毎日新聞社・毎日小学生新聞・毎日中学生新聞・NHK TBS
協 力	中国大使館・北京市教育局・韓国大使館・インドネシア大使館・(財)日韓文化交流基金
協 賛	地球環境基金・地球環境財団
問合せ先	地球こどもクラブ 作文コンクール事務局 電話番号 東京03(3586)2741
受付時間	AM10:00~PM17:00(土・日、祝日除く)

2 授賞式

- 日 時 1995年8月23日(水)
午後2時から2時50分
- 場 所 如水会館(千代田区丸の内3-2-1)
富士の間にて
- 出席者 来賓 高円宮殿下・妃殿下
大島 理森(国務大臣・環境庁長官)
- 近藤 次郎(地球子どもクラブ会長)
愛知 和男(地球子どもクラブ副会長/元環境庁長官)
那須 翔(地球子どもクラブ副会長/東京電力株式会社社長)
小林陽太郎(地球子どもクラブ副会長/富士ゼロックス株式会社社長)
- 審査委員長 江森 陽弘(ジャーナリスト/元朝日新聞編集委員)
審査員 赤池 幹(毎日小学生・中学生新聞編集長)
杉山 多恵(環境庁・環境学習専門官)
山谷えり子(サンケイリビング新聞編集長/生活ジャーナリスト)
長沢 光男(環境ジャーナリスト/元朝日新聞編集委員)
森 ミドリ(音楽家)
浅井 清恵(千葉県御宿中学校教諭)
- 入賞者 16名(海外在住のため欠席)
父兄 25人
マスコミ NHK・毎日新聞社・三井物産広報室
スタッフ 11人
- 進 行 午後2時、高円宮殿下・妃殿下をお迎えし「第5回授賞式」が開会致しました。地球子どもクラブ会長 近藤次郎氏の開会のあいさつの後、高円宮殿下よりお言葉を頂きました。続いて大島理森環境庁長官より祝辞が述べられ、授与に移りました。本日の出席者は16名、うち2名(海外日本人学校)は親族の代理出席でした。今回、入賞者のうち3名が海外日本人学校の生徒で、帰国した1名が出席しました。特別賞の中国・韓国・インドネシアの子供たちは、授賞式出席のため訪日しました。閉会后、受賞者は高円宮殿下・妃殿下と共に記念撮影をしました。

3 入賞者一覧

- 高円宮賞 長谷川顕子 (福井大学教育学部附属小学校5年)
椛島 頌一 (静岡県浜松市立西部中学校2年)
- 環境庁長官賞 井上 大作 (愛媛県伊予三島市立寒川小学校5年)
上原 照代 (鹿児島県私立池田中学校3年)

優秀賞	久保 沙織	(青森県三戸町立三戸小学校5年)
	石井 力丸	(埼玉県桶川市立桶川東小学校6年)
	小笹 浩一	(カナダ・トロント補習授業校3年)
	明石 真維	(大阪府箕面市立第一中学校1年)
地球こどもクラブ賞	長谷川智則	(カナダ・トロント補習授業校4年)
	西上 友理	(神奈川県横浜市立白根小学校4年)
	網野 弥生	(スペイン・マドリット日本人学校1年)
	吉野 太一	(千葉県御宿町立御宿中学校1年)
特別賞	王 博雅	(中国/北京市史家胡同小学校4年)
	藩 博	(中国/北京第二中学校3年)
	ユー・インソン	(韓国/ソウル大峙国民学校6年)
	チョン・アルム	(韓国/ソウル開院中学校2年)
	アディンガ・アム・インディラサリ	(Al-Azhar Kemang小学校4年)
R・スハルサント・ラハジョ	(Tarakanta 2 小学校4年)	

4 作文コンクール受賞記念品

高 田 宮 賞	図書券	70,000円分
環境庁長官賞	図書券	50,000円分
優 秀 賞	図書券	30,000円分
地球こどもクラブ賞	図書券	10,000円分
特 別 賞	カメラ	(オートフォーカス/パノラマきり替え)

5 調査結果

応募総数3,920作品の内訳は、次頁のとおりです。

募集告知に対する各マスコミ（朝日・毎日・読売をはじめ他地方新聞等）の拡がりや、企業広報誌等のご協力により、応募数の増加や地域の拡がりが増え、確実なものとなって参りました。

作品の内容としては、前回第4回応募作品からは家庭・学校・地域などでの活動報告が増えてきました。今回もますますその傾向が強くなり、こどもらしい率直な表現の作品が目立ちました。

しかし、地域的に基本的な知識・情報に欠けている作品がみられ残念に思う作品もありました。

環境問題に対し「基本的な知識・正確な情報」を得るのは簡単なようであり実はとても難しく感じます。まして大多数が受験に追われる小学生・中学生にとって困難ではないでしょうか。柔軟な考え方でできる年代に、多くの正確な情報を得ること、そこから自分自身の捉え方・考え方を学んで行かれることを期待し、当イベントの課題と致したいと考えます。

小学生部門

実際に活動している内容が多く見られました。クラス単位や地域の活動に参加する母親と同行するなど月2回の土曜休暇を上手に利用しているようです。活動内容としては、牛乳パックの回収やリサイクル活動などです。また数人の父母は家を開放し、リサイクル教室をこどものために始めている家庭などもありました。子供たちは次第に自分たちの活動範囲を広め環境新聞を作成し、教室に貼りだしているという報告もありました。

中学生のように、個人や友人同志だけで活動することはあまりないようですが近所のお年寄りを尋ねて話を聞いたり、家族が揃う夕食で親や兄弟から情報を得て自分なりに考えている様子が伺えます。

また動物保護についても訴えと同時に、「山に行ったらごみを持ち帰る」「川に食べ残しを捨てない」などまず自分の身近な所から保全に参加しようという意見がありました。

中学生部門

年令的に個人レベルで行動していることが目立ちました。例えば地域の活動に1人で参加して友人に広めていたり、小学生の時に始めた課題を中学生になって本格的に研究したりしています。

また、考え方に柔軟性が感じられました。前回までは、リゾート開発や地域開発に対して大きな非難がありましたが、“行き過ぎはいけないが、快適に過ごすための開発は現在の自分たちにはなくてはならないし、娯楽も必要だ”等の意見も増えています。彼らのほとんどはマンション暮らしです。ポタン一つでお湯が出たりクーラーが可動したり床暖房が入ったりするのがあたりまえと思っているこどももいます。キャンプなどに行っている短い期間の不自由な生活については楽しく語っていますが、普段の便利な生活は、捨てられないとのこと。

しかし、将来の夢として環境保全に役立つ研究者や国の機関に入って役立ちたいなど頼もしい意見が男女を問わず数多くありました。

海外の日本人学校からの作品は、環境保全に熱心な国では学ぶところが多くみられるが開発途上の国に在住する子供たちは、大気汚染による健康問題について訴える作品が多くありました。

また5回のコンクールを通して得た、受賞者の家族やその家族の所属する会社・団体等との交流は今後の当活動に大変な影響力を与えてくれることと期待しています。

国内応募状況

(単位：人)

県名	合計	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小/中小計
北海道	28	6	6	3	9	4		15/13
青森	87	17	18	9	26	17		44/43
宮城	17	6	4	6			1	16/1
秋田	17		5	3	4	1	4	8/9
山形	3	1		1		1		2/1
福島	36				6	28	2	/36
茨城	72	8	15	17	18	10	4	40/32
栃木	62	1	14	20	4	20	3	35/27
群馬	357	42	64	61	78	77	35	167/190
埼玉	582	179	100	140	117	43	3	419/163
千葉	494	97	98	131	60	54	54	326/168
東京	499	62	69	64	80	79	145	195/304
神奈川	90	16	15	18	13	13	15	49/41
新潟	47	6	7	6	9	10	9	19/28
石川	16	2	2		2	8	2	4/12
福井	22	4	5	3	6	3	1	12/10
山梨	73		55		3	10	5	55/18
長野	63	17	11	10	9	15	1	38/25
岐阜	53		16	8	9	20		24/29
静岡	64	17	10	17	5	14	1	44/20
愛知	26		9	6	5		6	15/11
三重	7		1	1		4	1	2/5
滋賀	1			1				1/
大阪	131	32	22	33	12	27	5	87/44
京都	53	5	36	12				53/
奈良	11			3		2	6	3/8
和歌山	2					2		/2
鳥取	26	5	5	7	5	4		17/9
島根	10	2				6	2	2/8
岡山	31	2	7	4	7	10	2	13/18
広島	3							3/
徳島	1					1		1/
愛媛	57	10	11	11	3	22		32/25
福岡	35	10	4	5	3	22	5	19/16
佐賀	1			1				1/
長崎	15	5	1	3		6		9/6
熊本	5	1	4					5/
大分	35	6	6	2		21		14/21
宮崎	23			4	4	15		4/19
鹿児島	222	9	13	9	67	41	83	31/191
沖縄	62	3	8	9	6	16	20	20/42
合計	3439	574	641	628	568	614	414	1843/1596

海外日本人学校応募状況

(単位：人)

国名(地域)	計	小4	小5	小6	中1	中2	中3
アメリカ(テネシー)	17		13	4			
カナダ(トロント)	9	5				4	
スペイン(マドリッド)	26	7	1	8	3	4	3
オランダ(北ブラバント)	8				4	4	
(アムステルダム)	86	26	28	20	5	2	5
ベネズエラ(カラカス)	19	10			7	1	1
台湾(台北)	102	2	18	81	1		
ドイツ(デュッセルドルフ)	10		10				
エクアドル(キト)	1	1					
合計	278	51	70	113	20	15	9

中国・韓国・インドネシア応募状況

(単位：人)

国名(都市名)	計	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中国(北京)	84	23	15	19	4	11	12
韓国(アンソン)	14	3	4	2	1	4	
インドネシア(ジャカルタ)	105	67	21	7	8	2	
合計	203	93	40	28	13	17	12

《 総合計 》

(単位：人)

	計	小4	小5	小6	中1	中2	中3
国内	3,439	574	641	628	568	614	414
日本人学校	278	51	70	113	20	15	9
中国・韓国・インドネシア	203	93	40	28	13	17	12
総計	3,920	718	751	769	601	646	435